

自分で光輝くチュチェ朝鮮は世界の立派な模範である

英國チュチェ思想研究会会長
ダーモット・ハドソン

金日成主席の遺産は、チュチェ思想とチュチェ朝鮮です。チュチェ朝鮮は、チュチェ思想が生んだ奇跡です。

金正恩総書記は次のように述べています。

「チュチェ思想は人間中心の世界観、人民大衆中心の革命理論と方法であるがゆえに、自主性を志向する人であれば誰もがすぐ共感し、自分のものとして受け入れることのできる最も正当かつ普遍的で生命力のある革命思想である。チュチェ思想の旗のもとに誇りに満ちた勝利の道を歩んできた朝鮮革命の栄えある歴史と、チュチェ思想の光のもとに世界的規模で自主化の気運が日増しに高まっている今日の現実はその明白な実証となる」

金日成主席は、抗日革命闘争を展開する日々にチュチェ思想を創始しました。チュチェ思想は、朝鮮人民に独立をもたらし、自主、自立、自衛の国家であるチュチェ朝鮮を誕生させました。偉大な思想は、常に偉大な現実を生むものです。

金日成主席と金正日総書記、金正恩総書記の指導のもとに、朝鮮は完全な自主性をもったチュチェの強国として高く浮上しました。高く聳え立ったチュチェ思想塔のように、チュチェ朝鮮の権威は高まりつつあります。チュチェ朝鮮は、世界でもっとも自主的な国家です。これについては敵も認めています。朝鮮民主主義人民共和国の領土には、たった一人の外国軍隊も駐屯していません。チュチェ朝鮮の澄み切った青空では、一機の外国軍用機も見ることができません。朝鮮民主主義人民共和国は、いかなる軍事同盟にも加担しなかった眞の非同盟国家、自主的な国家であります。朝鮮民主主義人民共和国は、国際通貨基金、世界銀行、世界貿易機関やアジア太平洋経済協力の構成国ではありません。

朝鮮民主主義人民共和国は、資本主義によるいかなる危機にも揺れない、強固な自立的民族経済をもっています。

チュチェ思想は、不敗の社会主义強国、もっとも強固な社会主义を生みました。1977年に英國学者メルコム・コールドウェルは「明白なのは南朝鮮が膨大な借款とアメリカの軍事的支援がないなら、そしてまた国際資本主義経済統合から遊離されるなら、必ずや崩壊する反面、主体性を固守する朝鮮は永遠に自主的な国家として残っているということである」と言いました。

朝鮮民主主義人民共和国における社会主义建設の全歴史は、チュチェ思想に

もとづく自主路線で一貫しています。チュチエは、朝鮮労働党と人民政権のすべての政策と路線の基礎です。

チュチエ思想の旗のもとに、朝鮮民主主義人民共和国は自立的民族経済を建設し、社会主義工業化を完成しました。

朝鮮民主主義人民共和国は、チョンリマ朝鮮、「社会主義模範の国」として世界で有名になりました。また無料治療と無料教育制度が実施され、税金が廃止されたことにより、共和国は人民の楽園と化しました。

朝鮮民主主義人民共和国は、帝国主義、植民地主義そして新植民地主義の束縛から脱して、新社会の建設を志向する非同盟諸国の人民にとって有力なモデルとなりました。

朝鮮民主主義人民共和国における社会主義建設は、革命的で進歩的な多くの人民を鼓舞しています。キューバの革命家エルネスト・チェ・ゲバラは、1960年に朝鮮を訪問して次のように書いています。

「われわれが直接訪問した社会主義諸国の中で朝鮮はもっとも優れた国である。われわれにもっとも大きな印象を与えた国がほかならぬ朝鮮である」

アフリカとアジア、ラテンアメリカの多くの代表団が、朝鮮民主主義人民共和国の経験を見習うために朝鮮を訪問しました。

1969年マリでチュチエ思想研究会が最初に結成されました。朝鮮のモデルとチュチエ思想の力強い牽引力は、朝鮮民主主義人民共和国の国境を越えて非同盟諸国へと広範に普及され拡大しました。1,000余個のチュチエ思想研究会が組織されました。1978年4月には、チュチエ思想国際研究所が日本の東京に創立されました。

自主性にたいする人民の念願を反映したことにより、チュチエ思想は世界人民の心をとらえました。

世界人民に自主性と自力更生の輝かしい模範を示したことにより、今日、帝国主義者は、チュチエ朝鮮とチュチエ思想そのものを憎悪し恐れています。非同盟諸国が自力更生にもとづいた自立的民族経済を建設するならば、帝国主義と新植民地主義を退けることができるでしょう。

今日、金正恩総書記の指導のもとに、朝鮮は自力更生の旗を高く掲げて、敵対勢力の制裁を粉碎し、社会主義建設を力強く推し進めています。

自主で光り輝くチュチエ朝鮮は世界の立派な模範であります。